

## 2021年7月 1日だけの世界の平和祈願会 参加者募集

募集内容 ①平和祈願会に現地にて参加して下さる方を募集します(15名まで)

②祈願会当日の開始時刻に合わせて一緒に祈りのアクションをして下さる方(何人でも)

日程 6/30~7/2の中で**1日のみ開催**

(①の方へ、正確な開催日はご参加が確定した方にダイレクトメッセージを送ります)

開始時間 午前5時ごろ

所要時間 30分程度(準備やリハーサル含む)

集合場所 新国立競技場(東京オリンピック・パラリンピックメインスタジアム)周辺敷地外のどこか

参加資格 不問

ボランティアですので、交通費などの諸経費は自己負担となります

老若男女、国籍、人種を越え、出来るだけ多くの方とアクションを共有します

参加記念品 500円分のQUOカードを進呈致します

当日はTwitterやLINEにて状況を細かくお伝え致します。遠方やご自宅にいて祈りを共有して下さる方々、どうぞ宜しくお願いいたします。

### 〈主催者より〉

この度は、世界の平和祈願会の募集要項にお目を通して頂き誠に有難うございます。平和祈願という言葉の中身は、人として「思いやることに集中する」という意味をこめております。今まさに様々な事情で国外の方々が多く集う時をこの国は迎えております。

その一つとして東京オリンピック、パラリンピックは皆さまの心を穏やかにしていない問題のポイントとなっているかもしれません。現実には海を越えてこの国に到着している方は日に日に増えています。そうしてその現実に対し、賛成反対どちらの意見も立っており、正当性のぶつかり合いとなっています。頑なになった心の壁が互いに厚く重くなっているのが現状です。国外から集まれた方々のお立場やお気持ちを思いますと、それはとても寂しく悲しいことです。

今の日本に降り立つということは、リスクを承知しながらも日本の準備した安全対策に従った行動を求められ、窮屈な思いをしていらっしゃるかと存じます。その一方で外国から来たというだけで保ウィルス者として嫌な目でみる人もいます。まずは、遠方よりはるばる来られた国の代表の方々に「ようこそ」と言えるのがこの国の人間性ではないでしょうか。それこそが「おもてなし」の基本であると存じます。

紛争はいつも心の弱い人間によって起こります。その弱さとは「恐れる心」です。武器を持たない相手であっても恐れを抱かせる対象であれば、根絶やしにしなければ気が済まない、自分が滅ぼされるという錯覚による恐怖でどれだけの冤罪とどれだけの命が今までにも奪われてきたのでしょうか。そのあとには必ず「憎しみや怒り」という反撃に遭うというルーティンは皆イヤというほど知識として備えているはずで

過去の歴史から私たちが学んできたことを今こそ改め、実行する時がきているのです。そうしてこの国の人々はそれが出来る靈性を備えています。自分は違うなどと思わないでください。思いを一つにすることに、学歴も経歴も腕力も老いも若いも靈能力も関係ないのです。誰一人としてこぼれることなく出来ることです。

その本来の強く清らかな心をもって思ってもらいたい事は「世界から集まった人たちの誰もが無事に過ごしてほしい」「外国の方が自国に戻られたあとも無事で、招いたこの国の人たちも無事で、その場に集まったことを悔んだり恨んだりすることのないような未来でありますように」そのために思いを一つとして祈りのアクションを起こす。新型コロナウイルスへの不安や政策者たちへの対応の不満などは一瞬だけ忘れて(せいぜい20分ほどです)、ただこの世界の平和のためだけを「思う」その時間を一緒に過ごしませんか？

### 偶然ではなく必然

この世界的なパンデミックの中、オリンピックという大事業をつつがなく成功させなければならない任務を負わされた日本のこの状況は、偶然であり不運と置いていらっしゃる方は多いのではないのでしょうか。ここで、発想を少しだけ変えてみませんか？

この国が「今」という時に世界中の人が集まらなければならない事情に関わったことは、そもそも「目には見えない何か」の計画であるのかもしれませんが。この国でなければ成し得ない事を求められているのではないかと考えたことはありませんか？この国は選ばれている。そう思っただけでいいでしょう。そうして、いまこの文章をご覧になっている貴方も選ばれた人間であり、関わることの出来る人間なのです。2021年7月、8月の東京は、ただのスポーツの祭典のためのものではなく、宇宙規模で人類が本来やるべきことを為せるのかどうかを試される期間と言ってもいいかもしれません。その期待にどれだけの人が応えることが出来るでしょうか。

思いはたくさん集まれば集まるほど、強く現実という世界に力として影響します。皆さんの平和を思う心が本物であっても何のアクションも起こさなければ、それは何も考えていない事と同じです。行動するために肉体が与えられています。いまこの身体を使い、目には見えない存在に対して思いを通す時です。ひとりひとりの心の力が潜在的である未知から、平和の種をたぐり寄せ、それらを掴み、確かなモノとして世界の人たちに渡し、その種を持ち帰ってもらいましょう。もしかしたらそれは、全世界の人が求める人類存続のための目には見えないワクチンに値するのかもしれませんが。まずは、アクション！

一般社団法人ミドリ-MiDOLe. 代表 伽羅(きやら)